

微生物または酵素;その組成物;微生物の増殖, 保存, 維持;突然変異または遺伝子工学;培地(微生物学的試験用の培地 C12Q1/00) [3]

注

(1) クラス C12 のタイトルに続く注 (1) - (3) に注意すること。[3, 4]

(2) 化合物または組成物の殺生物, 有害生物忌避, 有害生物誘引または植物生長調節活性は, さらにサブクラス A01P にも分類する。[8]

(3) 微生物蛋白または酵素の治療的活性は, さらにサブクラス A61P の分類を付与する。[7]

(4) このサブクラスに分類するとき, クロマトグラフィーに関する一般分野の主題事項が関係している限り, グループ B01D15/08 にも分類する。[8]

(5) このサブクラスにおいては, サブクラス C12R のインデキシングコードを付与することが望ましい。[6]

サブクラス内の索引

微生物; 胞子; 未分化細胞; ウィルス
1/00;3/00;5/00;7/00;11/00.....

酵素 9/00, 11/00.....

電気または波動エネルギーによる処理 13/00.....

突然変異または遺伝子工学 15/00.....

1/00 微生物, 例. 原生動物;その組成物(原生動物, バクテリアまたはウイルス起源の物質を含む医薬品製剤 A61K35/66, 藻類起源の物質を含む医薬品製剤 A61K36/02, 菌類起源の物質を含む医薬品製剤 A61K36/06;医薬品細菌抗原または抗体組成物の調製, 例. 細胞ワクチン, A61K39/00)

A 培養

B ・培養条件, 例. 原料供給条件, PH, 温度, の制御

C ・・通気条件の制御

D ・・・酸素

E ・消泡

F 培地

G ・微量成分の添加

H ・デイスティラーズ・ソルブルス

J 培地の殺菌

K 培養物の処理

L 微生物菌体

M ・シングルセルプロテイン[SCP]

N 微生物菌体の加工

P 微生物の利用

Q ・ガスの無害化

R ・有害物質の分解

S ・有機廃物への利用(廃水 C02F, 肥料 C05)

T 微生物のスクリーニング

U 遺伝子工学関係

Z その他

1/02 ・培地からの微生物の分離[3]

1/04 ・生きた微生物の保存, 維持(固定化微生物 C12N11/00) [3]

1/06 ・微生物の溶解[3]

1/08 ・核酸含量の減少[3]

1/10 ・原生動物;そのための培地[3]

1/11 ・・外来遺伝物質の導入によって修飾されたもの[5]

1/12 ・単細胞藻類;そのための培地(新規な植物 A01H13/00) [3]

A 培養

B 培地

C 菌体

Z その他

1/13 ・・外来遺伝物質の導入によって修飾されたもの[5]

1/14 ・菌類(きのこの栽培 A01G18/00;新規な植物 A01H15/00);そのための培地[3]

A 菌類

B ・培養

C ・培地

E 担子菌

F ・きのこ

G ・・培養

H ・・培地

Z その他

101 ・・一般的製麴方法(一般的製麴装置 C12M1/16)

1/15 ・・外来遺伝物質の導入によって修飾されたもの[5]

1/16 ・・酵母;そのための培地[3]

A 培養

B ・培養条件の制御

C ・・通気条件の制御

D 培地

E ・特定炭素源の利用

F ・微量成分の添加

G 酵母菌体

H 酵母菌体の保存

J 酵母菌体の加工

Z その他

1/18 ・・・パン酵母;ビール酵母[3]

1/19 ・・・外来遺伝物質の導入によって修飾されたもの[5]

1/20 ・細菌;そのための培地[3]

A 細菌自体, 細菌の培養, そのための培地

B 細菌の保存

C 細菌の加工

D 環境保全に関するもの(分解によるものは C12N1/20F も付与)

E 飼料, 医薬, 動物医薬, 殺生物剤, 有害生物忌避剤または誘引剤, または植物生長調節剤

F 細菌による分解

| | |
|--|---|
| Z | その他 |
| 1/21 | ・ 外来遺伝物質の導入によって修飾されたもの[5] |
| 1/22 | ・ セルロースまたはその加水分解物の利用方法またはそれを含む培地[3] |
| 1/24 | ・ 亜硫酸廃液の利用方法またはそれを含む培地[3] |
| 1/26 | ・ 炭化水素の利用方法またはそれを含む培地（微生物を利用した炭化水素油の精製 C10G32/00）[3] |
| 1/28 | ・ 脂肪族のもの[3] |
| 1/30 | ・ 炭素原子 5 個以下のもの[3] |
| 1/32 | ・ 低級アルカノール, すなわち C ₁ -C ₆ のものの利用またはそれを含む培地[3] |
| 1/34 | ・ 泡培地を使用する方法[3] |
| 1/36 | ・ 細胞の適応または退化[3] |
| 1/38 | ・ 必須の生育因子でない化学物質の添加による生育または活性の化学的刺激; 化学物質の除去による生育の刺激（C12N1/34 が優先）[3] |
| 3/00 | 胞子の形成または分離方法[3] |
| 5/00 | ヒト, 動物または植物の細胞, 例. セルライン; 組織; その培養または維持; そのための培地（組織培養技術による植物の増殖 A01H4/00）[3, 5] |
| 5/02 | ・ 懸濁液中における単一または複数の細胞の増殖; それらの維持; そのための培地[3] |
| 5/04 | ・ 植物細胞または組織[5] |
| 5/07 | ・ 動物細胞または組織[2010. 01] |
| 注 | |
| ・ このグループのサブグループ間にはラストプレイス優先ルールが適用されない。[2010. 01] | |
| 5/071 | ・ 脊椎動物細胞または組織, 例. ヒト細胞または組織[2010. 01] |
| 5/073 | ・ 胚細胞または組織; 胎児細胞または組織[2010. 01] |
| 5/0735 | ・ 胚性幹細胞; 胚性生殖細胞[2010. 01] |
| 5/074 | ・ 成体幹細胞[2010. 01] |
| 5/075 | ・ 卵母細胞; 卵原細胞[2010. 01] |
| 5/076 | ・ 精細胞; 精原細胞[2010. 01] |
| 5/077 | ・ 間葉細胞, 例. 骨細胞, 軟骨細胞, 骨髄間質細胞, 脂肪細胞または筋肉細胞[2010. 01] |
| 5/0775 | ・ 間葉系幹細胞; 脂肪組織由来幹細胞[2010. 01] |
| 5/078 | ・ 血液または免疫系からの細胞[2010. 01] |
| 5/0781 | ・ B 細胞; それらの前駆細胞[2010. 01] |
| 5/0783 | ・ T 細胞; NK 細胞; T 細胞又は NK 細胞の前駆細胞[2010. 01] |
| 5/0784 | ・ 樹状細胞; それらの前駆細胞[2010. 01] |
| 5/0786 | ・ 単球; マクロファージ[2010. 01] |
| 5/0787 | ・ 顆粒球, 例. 好塩基球, 好酸球, 好中 |

| | |
|--------|---|
| | 球, 肥満細胞[2010. 01] |
| 5/0789 | ・ 幹細胞; 多能性前駆細胞[2010. 01] |
| 5/079 | ・ 神経系の細胞[2010. 01] |
| 5/0793 | ・ 神経細胞[2010. 01] |
| 5/0797 | ・ 幹細胞; 前駆細胞[2010. 01] |
| 5/09 | ・ 腫瘍細胞[2010. 01] |
| 5/095 | ・ 幹細胞; 前駆細胞[2010. 01] |
| 5/10 | ・ 外来遺伝物質の導入によって修飾された細胞, 例. ウイルス形質転換細胞[5] |
| 5/12 | ・ 融合細胞, 例. ハイブリドーマ[5] |
| 5/14 | ・ 植物細胞[5] |
| 5/16 | ・ 動物細胞[5] |
| 5/18 | ・ ネズミ細胞, 例. マウス細胞[5] |
| 5/20 | ・ 融合パートナーの一方が B リンパ球であるもの[5] |
| 5/22 | ・ ヒト細胞[5] |
| 5/24 | ・ 融合パートナーの一方が B リンパ球であるもの[5] |
| 5/26 | ・ 異種間融合により生じる細胞[5] |
| 5/28 | ・ 融合パートナーの一方がヒト細胞であるもの[5] |
| 7/00 | ウイルス, 例. バクテリオファージ; それを含む組成物; その調製または精製（ウイルスを含む医薬品製剤 A61K35/76; 医薬用ウイルス性抗原または抗体組成物の調製, 例. ウイルスワクチン, A61K39/00）[3] |
| 7/01 | ・ 外来遺伝物質の導入によって修飾されたウイルス, 例. バクテリオファージ（ベクター C12N15/00）[5] |
| 7/02 | ・ 回収または精製[3] |
| 7/04 | ・ 不活化または弱毒化; ウイルスサブユニットの生産[3] |
| 7/06 | ・ 化学的処理によるもの[3] |
| 7/08 | ・ ウイルスの継代接種によるもの[3] |
| 9/00 | 酵素, 例. リガーゼ（6.）; 酵素前駆体; その組成物（歯の洗浄用酵素含有剤 A61K8/66, A61Q11/00; 医薬用酵素または酵素前駆体製剤 A61K38/43; 酵素含有洗浄剤 C11D）; 酵素の調製, 活性化, 阻害, 分離または精製方法[2006. 01] |

注

このグループにおいて:

注

—酵素前駆体は対応する酵素に分類される; [5]

注

—酵素は一般に国際酵素委員会による” 酵素命名および分類法” に従って分類する。適当な場合この名称はサブグループの次にカッコ内に示す。[3]

| | |
|------|---|
| 9/02 | ・ 酸化還元酵素（1.）, 例. ルシフェラーゼ[2006. 01] |
| 9/04 | ・ 電子供与体としての CHOH 基に作用するもの, 例. グルコースオキシダーゼ, 乳酸脱水素酵素（1.1）[2006. 01] |

| | | | | |
|------|--|--------|--------|---|
| D | グルコースを酸化するもの | | | ダーゼ (3・4) [2006. 01] |
| Z | その他のもの | 9/50 | | ・ ・ ・ プロテイナーゼ [2006. 01] |
| 9/06 | ・ ・ 電子供与体としての窒素含有化合物に作用するもの (1. 4, 1. 5, 1. 7) [2006. 01] | 9/52 | | ・ ・ ・ ・ 細菌から抽出されたもの [2006. 01] |
| A | ウリカーゼ | 9/54 | | ・ ・ ・ ・ ・ 細菌がバチルス属であるもの [2006. 01] |
| Z | その他のもの | 9/56 | | ・ ・ ・ ・ ・ ・ バチルス ズブチルスまたはバチルス リケニフォルミス [2006. 01] |
| 9/08 | ・ ・ 電子受容体としての過酸化水素に作用するもの (1. 11) [2006. 01] | 9/58 | | ・ ・ ・ ・ ・ 菌類から抽出されたもの [2006. 01] |
| 9/10 | ・ 転移酵素 (2.) (リボヌクレアーゼ C12N9/22) [2006. 01] | 9/60 | | ・ ・ ・ ・ ・ 酵母からのもの [2006. 01] |
| 9/12 | ・ ・ りん含有基を転移するもの, 例. キナーゼ (2. 7) [2006. 01] | 9/62 | | ・ ・ ・ ・ ・ アスペルギルス属からのもの [2006. 01] |
| 9/14 | ・ 加水分解酵素 (3.) [2006. 01] | 9/64 | | ・ ・ ・ ・ 動物の組織から抽出されたもの, 例. レンニン [2006. 01] |
| 9/16 | ・ ・ エステル結合に作用するもの (3. 1) [2006. 01] | A | カリクレイン | |
| B | フォスファターゼ | Z | その他のもの | |
| Z | その他のもの, 例. エキソデオキシリボヌクレアーゼ | 9/66 | | ・ ・ ・ エラスターゼ [2006. 01] |
| 9/18 | ・ ・ ・ カルボン酸エステル加水分解酵素 [2006. 01] | 9/68 | | ・ ・ ・ プラスミン, すなわちフィブリノリシン [2006. 01] |
| 9/20 | ・ ・ ・ ・ トリグリセリドの分解, 例. リパーゼによるもの [2006. 01] | 9/70 | | ・ ・ ・ ストレプトキナーゼ [2006. 01] |
| 9/22 | ・ ・ ・ リボヌクレアーゼ [2006. 01] | 9/72 | | ・ ・ ・ ウロキナーゼ [2006. 01] |
| 9/24 | ・ ・ グリコシル化合物に作用するもの (3. 2) [2006. 01] | 9/74 | | ・ ・ ・ トロンビン [2006. 01] |
| 9/26 | ・ ・ ・ α —1, 4 グルコシド結合に作用するもの, 例. ヒアルロニダーゼ, インベルターゼ, アミラーゼ [2006. 01] | 9/76 | | ・ ・ ・ トリプシン; キモトリプシン [2006. 01] |
| A | アミラーゼ類, 例. β —アミラーゼ | 9/78 | | ・ ・ ペプチド結合以外の C—N 結合に作用するもの (3. 5) [2006. 01] |
| Z | その他のもの | 9/80 | | ・ ・ ・ 鎖状アミドのアミド結合に作用するもの [2006. 01] |
| 9/28 | ・ ・ ・ ・ 微生物起源の α —アミラーゼ, 例. 細菌アミラーゼ [2006. 01] | 9/82 | | ・ ・ ・ ・ アスパラギナーゼ [2006. 01] |
| 9/30 | ・ ・ ・ ・ ・ 菌類起源のもの [2006. 01] | 9/84 | | ・ ・ ・ ・ ペニシリンアミダーゼ [2006. 01] |
| 9/32 | ・ ・ ・ ・ 植物起源の α —アミラーゼ [2006. 01] | 9/86 | | ・ ・ ・ 環状アミドのアミド結合に作用するもの, 例. ペニシリナーゼ [2006. 01] |
| 9/34 | ・ ・ ・ ・ グルコアミラーゼ [2006. 01] | 9/88 | | ・ 付加酵素 (4.) [2006. 01] |
| 9/36 | ・ ・ ・ N—アセチルムラミン酸と 2—アセチルアミノ—2—デオキシ—D—グルコース間の β —1, 4 結合に作用するもの, 例. リゾチーム [2006. 01] | 9/90 | | ・ 異性化酵素 (5.) [2006. 01] |
| 9/38 | ・ ・ ・ β —ガラクトース—グリコシド結合に作用するもの, 例. β —ガラクトシダーゼ [2006. 01] | 9/92 | | ・ ・ グルコースイソメラーゼ [2006. 01] |
| 9/40 | ・ ・ ・ α —ガラクトース—グリコシド結合に作用するもの, 例. α —ガラクトシダーゼ [2006. 01] | 9/94 | | ・ パンクレアチン [2006. 01] |
| 9/42 | ・ ・ ・ β —1, 4 グルコシド結合に作用するもの, 例. セルラーゼ [2006. 01] | 9/96 | | ・ 付加体または組成物を形成することによる酵素の安定化; 酵素抱合体の生成 [2006. 01] |
| 9/44 | ・ ・ ・ α —1, 6 グルコシド結合に作用するもの, 例. イソアミラーゼ, プルラナーゼ [2006. 01] | 9/98 | | ・ 粒状または自由流動性酵素組成物の調製 (C12N9/96 が優先) [2006. 01] |
| 9/46 | ・ ・ ・ ・ デキストラナーゼ [2006. 01] | 9/99 | | ・ 化学処理による酵素の不活性化 [2006. 01] |
| 9/48 | ・ ・ ペプチド結合に作用するもの, 例. トロンプラスチン, ロイシンアミノペプチ | 11/00 | | 担体結合または固定化酵素; 担体結合または固定化微生物; その調製 [2006. 01] |
| | | 11/02 | | ・ 有機担体上または内部に固定化した酵素または微生物細胞 [2006. 01] |
| | | 11/04 | | ・ ・ 担体内に包括されたもの, 例. ゲルまたは中空繊維 [2006. 01] |
| | | 11/06 | | ・ ・ 架橋試薬によって担体と結合したもの [2006. 01] |
| | | 11/08 | | ・ ・ 担体が合成高分子であるもの [2020. 01] |
| | | 11/082 | | ・ ・ ・ 炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られたもの [2020. 01] |
| | | 11/084 | | ・ ・ ・ ・ ビニルアルコール単位を含有する重合体 [2020. 01] |

- 11/087 ・・・・アクリル重合体[2020. 01]
 11/089 ・・・・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られたもの[2020. 01]
 11/091 ・・・・フェノール樹脂;アミノ樹脂[2020. 01]
 11/093 ・・・・ポリウレタン[2020. 01]
 11/096 ・・・・ポリエステル;ポリアミド[2020. 01]
 11/098 ・・・・酵素または微生物細胞の存在下で形成されたもの[2020. 01]
 11/10 ・・・・担体が炭水化物であるもの[2006. 01]
 11/12 ・・・・セルロースまたはその誘導体[2006. 01]
 11/14 ・無機担体上または内部に固定化した酵素または微生物細胞[2006. 01]
 11/16 ・生物細胞上または内部に固定化した酵素または微生物細胞[2006. 01]
 11/18 ・複合酵素系[2006. 01]
 13/00 微生物または酵素の電気または波動エネルギーによる処理, 例. 磁気, 音波[3]
 15/00 突然変異または遺伝子工学; 遺伝子工学に関する DNA または RNA, ベクター, 例. プラスミド, またはその分離, 製造または精製; そのための宿主の使用 (突然変異体または遺伝的に処理された微生物, C12N1/00, C12N5/00, C12N7/00; 植物新種 A01H; 組織培養技術による植物の増殖 A01H4/00; 動物新種 A01K67/00; 遺伝子疾病の治療のために生体の細胞内に挿入する遺伝子物質を含有する医薬品製剤の使用, 遺伝子治療 A61K48/00; ペプチド一般 C07K) [3, 5, 6]
 100 ・ダミーFIC12N15/00, 100@P を設定するためのダミーFI 【新規付与停止】
 100 P パテントファミリーに C12N15/00 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 100 Z その他

注

このグループは、人の介入なしには自然界で通常起こらないような、次世代へ伝達される遺伝子構造の変化を生じる遺伝子の改変が存在する方法を包含する。[3]

- 15/01 ・外来遺伝物質を導入しない突然変異体の調製; そのためのスクリーニング方法[5]
 P パテントファミリーに C12N15/01 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 Z その他
 15/02 ・2 つ以上の細胞の融合による融合細胞の調製, 例. プロトプラスト融合[5]
 P パテントファミリーに C12N15/02 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 Z その他
 15/03 ・・・・細菌[5]
 P パテントファミリーに C12N15/03 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 Z その他

- 15/04 ・・・・菌類[5]
 P パテントファミリーに C12N15/04 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 Z その他
 15/05 ・・・・植物細胞[5]
 15/06 ・・・・動物細胞[5]
 100 ・・・・モノクローナル抗体に関するもの
 15/07 ・・・・ヒト細胞[5]
 100 ・・・・モノクローナル抗体に関するもの
 15/08 ・・・・異種間の融合により生じる細胞[5]
 100 ・・・・モノクローナル抗体に関するもの
 15/09 ・組換え DNA 技術[5]
 P パテントファミリーに C12N15/09 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 Z その他
 100 ・・・・ゲノム編集技術, 例. TALEN, ジンクフィンガーヌクレアーゼを用いるもの
 110 ・・・・CRISPR/Cas を用いるもの
 200 ・・・・DNA チップ, マイクロアレイ
 15/10 ・・・・DNA または RNA の分離, 製造または精製のための方法 (DNA または RNA の化学的製造 C07H21/00; 微生物からのまたは酵素を用いた非構造ポリヌクレオチドの製造 C12P19/34) [5]
 P パテントファミリーに C12N15/10, C12N15/1034, C12N15/1037, C12N15/1041, C12N15/1044, C12N15/1048, C12N15/1051, C12N15/1055, C12N15/1058, C12N15/1062, C12N15/1065, C12N15/1068, C12N15/1072, C12N15/1075, C12N15/1079, C12N15/1082, C12N15/1086, C12N15/1089, C12N15/1093, C12N15/1096 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 Z その他
 100 ・・・・生物試料からの核酸の抽出または分離, 例. 純粋分離または単離方法; そのための条件, 緩衝液
 100 P パテントファミリーに C12N15/1003 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 100 Z その他
 110 ・・・・固体保持担体によるもの, 例. 粒子, ポリマー
 110 P パテントファミリーに C12N15/1006 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 110 Z その他
 112 ・・・・クロマトグラフィーによるもの, 例. 電気泳動, イオン交換, 逆相
 112 P パテントファミリーに C12N15/101 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】
 112 Z その他
 114 ・・・・磁性ビーズの使用によるもの
 114 P パテントファミリーに C12N15/1013 の CPC が付与されているもの 【新規付与停止】

- 114 Zその他
- 120ろ過によるもの, 例. ろ過器, フリット, 膜の使用
- 120 Pパテントファミリーに C12N15/1017 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 120 Zその他
- 200核酸の突然変異誘導
- 200 Pパテントファミリーに C12N15/102 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 200 Zその他
- 210遺伝物質, 例. エラープロロンポリメラーゼをコードするもの, の挿入による, またはミスマッチ修復遺伝子の阻害による, 高突然変異誘発性宿主であるミューテーターを使用した突然変異生成 (ゲノム編集技術, C12N15/09, 100)
- 210 Pパテントファミリーに C12N15/1024 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 210 Zその他
- 220DNA シャフリングによるもの, 例. RSR, STEP, RPR
- 220 Pパテントファミリーに C12N15/1027 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 220 Zその他
- 230遺伝子アセンブリによる突然変異生成, 例. オリゴヌクレオチドエクステンション PCR によるアセンブリ
- 230 Pパテントファミリーに C12N15/1031 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 230 Zその他
- 15/11 . . DNA または RNA フラグメント; その修飾物 (組換え技術に使用されない DNA または RNAC07H21/00) [5]
- P パテントファミリーに C12N15/11, C12N15/111 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- Z その他
- 15/113遺伝子の発現を調節する非コード核酸, 例. アンチセンスオリゴヌクレオチド [2010. 01]
- P パテントファミリーに C12N15/113 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- Z その他
- 100ウイルスに対するもの
- 100 Pパテントファミリーに C12N15/1131 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 100 Zその他
- 102レトロウイルス, 例. HIV, に対するもの
- 102 Pパテントファミリーに C12N15/1132 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 102 Zその他
- 104ヘルペスウイルス, 例. HSV, に対するもの
- 104 Pパテントファミリーに C12N15/1133 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 104 Zその他
- 110癌遺伝子または癌抑制遺伝子に対するもの
- 110 Pパテントファミリーに C12N15/1135 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 110 Zその他
- 120成長因子, 成長調節因子, サイトカイン, リンホカインまたはホルモンに対するもの
- 120 Pパテントファミリーに C12N15/1136 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 120 Zその他
- 130酵素に対するもの (ウイルス酵素 C12N15/113, 100; 受容体 C12N15/113, 140)
- 130 Pパテントファミリーに C12N15/1137 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 130 Zその他
- 140受容体または細胞表面蛋白質に対するもの
- 140 Pパテントファミリーに C12N15/1138 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- 140 Zその他
- 15/115アプタマー, すなわち, ハイブリダイズ以外の手段で, 特異的にかつ高親和性で標的分子に結合する核酸 [2010. 01]
- P パテントファミリーに C12N15/115 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- Z その他
- 15/117免疫調節性を有する核酸, 例. CpG モチーフを含む核酸 [2010. 01]
- P パテントファミリーに C12N15/117 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
- Z その他
- 15/12動物蛋白質をコードする遺伝子 [5]
- 15/13免疫グロブリン [5]
- 15/14ヒト血清アルブミン [5]
- 15/15プロテアーゼ阻害剤, 例. アンチトロンビン, アンチトリプシン, ヒルジン [5]
- 15/16ホルモン [5]
- 15/17インシュリン [5]
- 15/18成長ホルモン [5]
- 15/19インターフェロン; リンホカイン; サイトカイン [5]
- 15/20インターフェロン [5]
- 15/21 α -インターフェロン [5]
- 15/22 β -インターフェロン [5]
- 15/23 γ -インターフェロン [5]
- 15/24インターロイキン [5]
- 15/25インターロイキン—1 [5]

C 1 2 N

| | |
|-------|---|
| 15/26 | ・ ・ ・ ・ ・ インターロイキン-2[5] |
| 15/27 | ・ ・ ・ ・ ・ コロニー刺激因子[5] |
| 15/28 | ・ ・ ・ ・ ・ 腫瘍壊死因子[5] |
| 15/29 | ・ ・ ・ 植物蛋白質, 例. ソーマチン, をコードする遺伝子[5] |
| 15/30 | ・ ・ ・ 原生動物蛋白質, 例. 変形体, 睡眠病病原虫, アイメリア由来の蛋白質, をコードする遺伝子[5] |
| 15/31 | ・ ・ ・ 微生物蛋白質, 例. エンテロトキシンをコードする遺伝子[5] |
| 15/32 | ・ ・ ・ ・ バチルス菌結晶蛋白質[5] |
| 15/33 | ・ ・ ・ ・ ウイルス蛋白質をコードする遺伝子[5] |
| 15/34 | ・ ・ ・ ・ ・ DNA ウイルス由来の蛋白質[5] |
| 15/35 | ・ ・ ・ ・ ・ パルボウイルス科, 例. 猫汎白血球減少症ウイルス, ヒトパルボウイルス[5] |
| 15/36 | ・ ・ ・ ・ ・ ヘパドナウイルス科[5] |
| 15/37 | ・ ・ ・ ・ ・ パポーバウイルス科, 例. 乳頭腫ウイルス, ポリオーマウイルス, SV40[5] |
| 15/38 | ・ ・ ・ ・ ・ ヘルペスウイルス科, 例. 単純ヘルペスウイルス, 水痘一帯状ヘルペスウイルス, エプスタイン-バールウイルス, サイトメガロウイルス, 仮性狂犬病ウイルス[5] |
| 15/39 | ・ ・ ・ ・ ・ ポックスウイルス科, 例. ワクシニアウイルス, 痘瘡ウイルス[5] |
| 15/40 | ・ ・ ・ ・ RNA ウイルス由来の蛋白質, 例. フラビウイルス[5] |
| 15/41 | ・ ・ ・ ・ ・ ピコルナウイルス科, 例. ライノウイルス, コクサッキーウイルス, エコーウイルス, エンテロウイルス[5] |
| 15/42 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ 口蹄疫ウイルス[5] |
| 15/43 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ポリオウイルス[5] |
| 15/44 | ・ ・ ・ ・ ・ オルソミクソウイルス科, 例. インフルエンザウイルス[5] |
| 15/45 | ・ ・ ・ ・ ・ パラミクソウイルス科, 例. はしかウイルス, おたふくかぜウイルス, ニューカッスル病ウイルス, 犬ジステンパーウイルス, 牛痘ウイルス, レスピラトリンシシヤルウイルス[5] |
| 15/46 | ・ ・ ・ ・ ・ レオウイルス科, 例. ロタウイルス, ブルータングウイルス, コロラドダニ熱ウイルス[5] |
| 15/47 | ・ ・ ・ ・ ・ ラブドウイルス科, 例. 狂犬病ウイルス, 水泡性口内炎ウイルス[5] |
| 15/48 | ・ ・ ・ ・ ・ レトロウイルス, 例. ウシ白血病ウイルス, 猫白血病ウイルス[5] |
| 15/49 | ・ ・ ・ ・ ・ レンチウイルス科, 例. HIV, ビスナーマエディウイルス, 馬感染性貧血ウイルスなどの免疫不全ウイルス[5] |
| 15/50 | ・ ・ ・ ・ ・ コロナウイルス科, 例. 感染性 |

管支炎ウイルス, 伝染病胃腸炎ウイルス
[5]

15/51 ・ ・ ・ ・ ・ 肝炎ウイルス[5]

15/52 ・ ・ ・ 酵素または酵素前駆体をコードする
 遺伝子[5]

 P パテントファミリーに C12N15/52 の CPC が
 付与されているもの【新規付与停止】

 Z その他

注

・ ・ ・ このグループにおいては:

注

・ ・ ・ ー酵素前駆体をコードする遺伝子は, 対応する酵素をコー
ドする遺伝子をもとに分類される;

注

・ ・ ・ ー酵素は, 一般に国際酵素委員会による“酵素の命名お
よび分類法”に従って分類する。適当な場合この名称はグルー
プの次にカッコ内に示す。[5]

15/53 ・ ・ ・ ・ ・ 酸化還元酵素 (1) [5]

15/54 ・ ・ ・ ・ ・ 転移酵素 (2) [5]

15/55 ・ ・ ・ ・ ・ 加水分解酵素 (3) [5]

15/56 ・ ・ ・ ・ ・ グリコシル化合物に作用するも
 の (3.2), 例. アミラーゼ, ガラクトシダ
 ーゼ, リゾチーム[5]

15/57 ・ ・ ・ ・ ・ ペプチド結合に作用するもの (3.4)
 [5]

15/58 ・ ・ ・ ・ ・ プラスミノーゲン活性化因子,
 例. ウロキナーゼ, TPA[5]

15/59 ・ ・ ・ ・ ・ キモシン[5]

15/60 ・ ・ ・ ・ ・ 付加酵素 (4) [5]

15/61 ・ ・ ・ ・ ・ 異性化酵素 (5) [5]

15/62 ・ ・ ・ 融合蛋白質をコードする DNA 配列[5]

 P パ テ ン ト フ ァ ミ リ ー に
 C12N15/62, C12N15/625 の CPC が付与され
 ているもの【新規付与停止】

 Z その他

注

・ ・ ・ このグループにおいては, 下記の用語は以下に示す意味
で用いる:

注

・ ・ ・ ー“融合”とは2つの異なる蛋白質の融合を意味する。
[5]

15/63 ・ ・ ベクターを用いた外来遺伝物質の導入;
 ベクター;そのための宿主の使用;発現の
 制御[5]

 P パテントファミリーに C12N15/63 の CPC が
 付与されているもの【新規付与停止】

 Z その他

100 ・ ・ ・ 外部から誘導可能なリプレッサーま
 たはインデューサーを介した遺伝子発現
 調節によって特徴づけられるもの

100 P パテントファミリーに C12N15/635 の CPC が
 付与されているもの【新規付与停止】

100 Z その他

- 15/79 ・・・・真核宿主に特に適合するベクターまたは発現システム[5]
 P パテントファミリーに C12N15/79 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 Z その他
- 注**
 ...このグループは宿主としての真核生物の使用を包含する。
 [5]
- 15/80 ・・・・菌類用[5]
 P パテントファミリーに C12N15/80 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 Z その他
- 15/81 ・・・・酵母用[5]
 P パテントファミリーに C12N15/81 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 Z その他
- 100 ・・・・出芽酵母以外の酵母用
 100 Pパテントファミリーに C12N15/815 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 100 Zその他
- 15/82 ・・・・植物細胞用[5]
 P パテントファミリーに C12N15/82, C12N15/8201, C12N15/8202, C12N15/8206, C12N15/8207, C12N15/8209, C12N15/821, C12N15/8212, C12N15/8213, C12N15/8216, C12N15/8218, C12N15/822, C12N15/8221, C12N15/8237, C12N15/8238, C12N15/8239, C12N15/8241, C12N15/8242, C12N15/8242, C12N15/8243, C12N15/8245, C12N15/8246, C12N15/8247, C12N15/8249, C12N15/8255, C12N15/8257, C12N15/8258, C12N15/8259, C12N15/8261, C12N15/8262, C12N15/8263, C12N15/8265, C12N15/8266, C12N15/8267, C12N15/8269, C12N15/827, C12N15/8287, C12N15/8289, C12N15/829, C12N15/8291, C12N15/8293, C12N15/8294, C12N15/8295, C12N15/8297, C12N15/8298 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 Z その他
- 100 ・・・・色素体, ミトコンドリアの形質転換に特徴のあるもの
 100 Pパテントファミリーに C12N15/8214 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 100 Zその他
- 110 ・・・・遺伝子スイッチに特徴のあるもの
 110 Pパテントファミリーに C12N15/8217 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 110 Zその他
- 120 ・・・・発生的に制御された発現システム, 組織特異的, 器官特異的, 時間的または空間的制御に特徴のあるもの
 120 Pパテントファミリーに C12N15/8222 の CPC

- が付与されているもの【新規付与停止】
 120 Zその他
- 122 ・・・・植物組織特異的プロモーターに特徴のあるもの
 122 Pパテントファミリーに C12N15/8223, C12N15/8225, C12N15/8226, C12N15/8227, C12N15/8229 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 122 Zその他
- 124 ・・・・生殖組織特異的プロモーターに特徴のあるもの
 124 Pパテントファミリーに C12N15/823, C12N15/8231, C12N15/8233 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 124 Zその他
- 126 ・・・・種子, 例. 胚, 胚乳, 特異的なもの
 126 Pパテントファミリーに C12N15/8234 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 126 Zその他
- 128 ・・・・果実特異的なもの
 128 Pパテントファミリーに C12N15/8235 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 128 Zその他
- 130 ・・・・色素の生合成に関するもの; 花の形態を修飾するもの
 130 Pパテントファミリーに C12N15/825 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 130 Zその他
- 140 ・・・・アミノ酸含量に関するもの, 例. 合成貯蔵蛋白質, アミノ酸生合成系の改変
 140 Pパテントファミリーに C12N15/8251, C12N15/8253, C12N15/8254 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 140 Zその他
- 150 ・・・・ストレス耐性のためのもの, 例. 重金属耐性
 150 Pパテントファミリーに C12N15/8271, C12N15/8279, C12N15/8281, C12N15/8282, C12N15/8283, C12N15/8285, C12N15/8286 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 150 Zその他
- 152 ・・・・干ばつ, 寒冷, 塩耐性のためのもの
 152 Pパテントファミリーに C12N15/8273 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】
 152 Zその他
- 154 ・・・・除草剤耐性のためのもの
 154 Pパテントファミリーに

| | | | |
|--------|--|--------|---|
| | C12N15/8274, C12N15/8275, C12N15/8277, C12N15/8278 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | | C12N15/867, C12N15/8673, C12N15/8676 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| 154 Z | その他 | Z | その他 |
| 15/83 | ・・・・・・ウイルスベクター, 例. カリフラワームザイクウイルス[5] | 15/869 | ・・・・・・ヘルペスウイルスベクター[7] |
| P | パテントファミリーに C12N15/8203 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | P | パテントファミリーに C12N15/869, C12N15/8695 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| Z | その他 | Z | その他 |
| 15/84 | ・・・・・・Tiープラスミド[5] | 15/87 | ・・他に分類されない方法を用いた外来遺伝物質の導入, 例. 同時形質転換[5] |
| P | パテントファミリーに C12N15/8205 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | P | パテントファミリーに C12N15/87 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| Z | その他 | Z | その他 |
| 15/85 | ・・・・・・動物細胞用[5] | 15/873 | ・・新規胚を製造するための技術, 例. 核移植, 全能性細胞のマニピュレーション, または, キメラ胚の製造[2010. 01] |
| P | パテントファミリーに C12N15/85, C12N15/8509, C12N15/8518, C12N15/8527, C12N15/8536, C12N15/8545, C12N15/8554, C12N15/8563, C12N15/8572, C12N15/8581, C12N15/859 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | P | パテントファミリーに C12N15/873 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| Z | その他 | Z | その他 |
| 15/86 | ・・・・・・ウイルスベクター[5] | 15/877 | ・・・・新規哺乳動物クローン胚を製造するための技術[2010. 01] |
| P | パテントファミリーに C12N15/86 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | P | パテントファミリーに C12N15/877, C12N15/8771, C12N15/8772, C12N15/8773, C12N15/8775, C12N15/8776, C12N15/8777, C12N15/8778 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| Z | その他 | Z | その他 |
| 15/861 | ・・・・・・アデノウイルスベクター[7] | 15/88 | ・・・・マイクロカプセル化を用いるもの, 例. リポソーム小胞を用いるもの[5] |
| P | パテントファミリーに C12N15/861, C12N15/8613, C12N15/8616 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | P | パテントファミリーに C12N15/88 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| Z | その他 | Z | その他 |
| 15/863 | ・・・・・・ボックスウイルスベクター, 例. ワクシニアウイルス[7] | 15/89 | ・・・・マイクロインジェクション法を用いるもの[5] |
| P | パテントファミリーに C12N15/863, C12N15/8633, C12N15/8636 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | P | パテントファミリーに C12N15/89, C12N15/895 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| Z | その他 | Z | その他 |
| 15/864 | ・・・・・・パルボウイルスベクター[7] | 15/90 | ・・外来 DNA の染色体内への安定導入[5] |
| P | パテントファミリーに C12N15/864 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | P | パテントファミリーに C12N15/90 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| Z | その他 | Z | その他 |
| 100 | ・・・・・・アデノ随伴ウイルスベクター | 100 | ・・・・相同性組換えを用いるもの（ゲノム編集技術, 例. TALEN, ジンクフィンガーヌクレアーゼを用いるもの C12N15/09, 100; CRISPR/Cas を用いるもの C12N15/09, 110） |
| 100 P | パテントファミリーに C12N15/8645 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | 100 P | パテントファミリーに C12N15/902 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 |
| 100 Z | その他 | 100 Z | その他 |
| 15/866 | ・・・・・・バキュロウイルスベクター[7] | 102 | ・・・・・・酵母におけるもの |
| P | パテントファミリーに C12N15/866 の CPC が付与されているもの【新規付与停止】 | 102 P | パテントファミリーに C12N15/905 の CPC が |
| Z | その他 | | |
| 15/867 | ・・・・・・レトロウイルスベクター[7] | | |
| P | パテントファミリーに | | |

C 1 2 N

付与されているもの【新規付与停止】

102 Zその他

104哺乳類細胞におけるもの

104 PパテントファミリーにC12N15/907のCPCが

付与されているもの【新規付与停止】

104 Zその他